

弁論大会に向けて

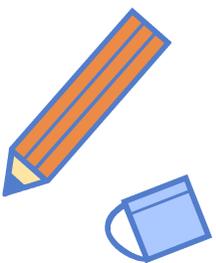
意見文の書き方(下書き用紙)

校内弁論大会に向けて、意見文を書いてみましょう。日頃、あなたが興味関心を持っていること、日常生活の中で感じた事柄、多くの人に考えてほしいことなどを文章にまとめて発表してみよう。

①題材(テーマ)の決定

*次の点に注意してテーマを決定する。

1. 最も書きたいと思うもの
2. よく知っているもの
3. 読み手(聞き手)である高校生にとって関心があり、訴えかけの強いもの



テーマ()

②主題文を書く

テーマを簡潔に表した短い文章を書いてみる。主題文は、これから書く文章全体の骨格となる。

主題文

例

テーマ：国際協力

主題文：一方的な協力でなく、お互い対等な立場に立っての、教え教えられる関係が必要である。

テーマ：私の人生

主題文：毎日を精一杯に生きることが、人生を豊かにし、充実したものになると考える

③材料を集め選択する

主題を明確にし、説得力のある文章を書くために、できるだけ多くの材料を集めることが大切である。まず、文章に書いたことを箇条書きしてみる。材料を集めたら、主題に照らし合わせて取捨選択をする。

◎材料集めの方法

1. 自分の経験や知識による材料収集
2. 新聞・テレビなどや読書を通しての間接的な知識による資料収集
3. 文献調査や観察・実態調査による資料収集

◎材料を選ぶ観点

1. 事柄を多角的にとらえられ、主題を支えるもの
2. 体験や意見に基づくものや、確かめたり調べたりすることのできるもの
3. 書き手にも読み手にも魅力的なもの

材料(選んだ材料には○印をつける)

* * *

()年()組()番氏名()

* * * * *

④構成を考える(構想を立てる)

文章の骨組みや、書く順序などについて考える。選んだ材料をどう並べ、どう表現していくかを考えること。構想メモ

1. 「序論」問題の提起

2. 「本論」主題をめぐる具体的な展開

3. 「結論」展開してきたことまとめ

*「起承転結」の四段落構成でも可。

⑤叙述：下書き(文章を書き始める)

構想メモに従って、原稿用紙4〜5枚の文章にまとめてみよう。文章を書くときは、原稿用紙の使い方「留意すること」。

叙述のポイント

1. 文体を統一しよう
2. 一文はできるだけ短く簡潔に書く。
3. 引用は正確に、出典は明らかにする。

⑥推敲する 1200字以上必ず書くこと!

書き上げた下書きを読み直して、よりよい表現・文章にしなす。



※提出メ切り 休校明けの最初の授業

一学年は国語総合 二・三学年は現代文

※クラス弁論大会にてクラス代表を選出!